

進路だより

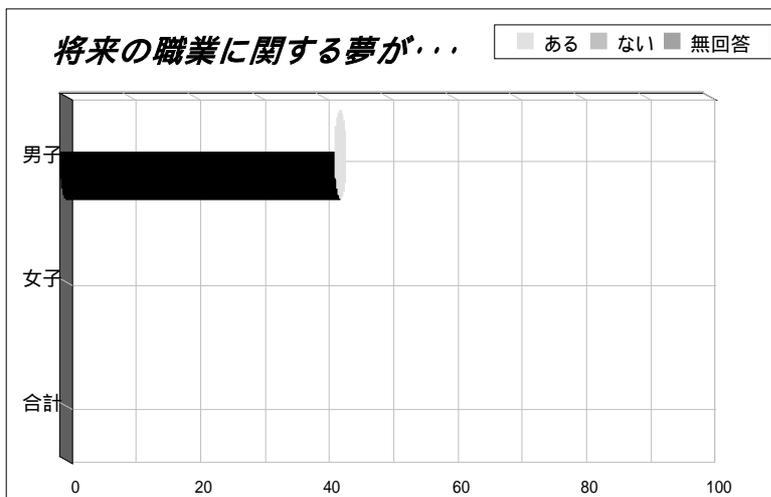
光陵中学校
第3学年
2004.5.25
第7号

第1回進路希望調査から ~ 1

今回の調査の主な目的は、「この調査をきっかけに本人と保護者で話し合ってくださいこと」でした。「保護者の願い」を今読ませていただいています。こんな話をしながら記入していただいたのだらうな…と感じることが多くあります。子どもたちの心にも何か残るものがあると思います。

進路選択に関する現在の意識を探るために結果を少しまとめてみました。

将来の夢や目標はありますか？



約6割の生徒は何かあこがれの職業を持っているようです。

具体的に記入してあった(複数回答です。)職業のうち3名以上の回答のあった職業を下に挙げてみました。

同じような内容のものはまとめてあります。

例えば、

看護師・歯科衛生士は「医療関係」に、
和食板前・菓子職人は「調理師・パティシエ」に
…という具合です。)

福祉関係の職業を希望する人が目立って多いことが特徴でしょうか。

高齢化社会が間近に迫ってきている、という時代を反映していると感じます。

(右記以外には研究者、自営業、通訳、農業、カメラマン、一般事務、宇宙飛行士、産廃処理業、自然の仕事、習字の先生…という記入がありました。)

めざす職業によっては、

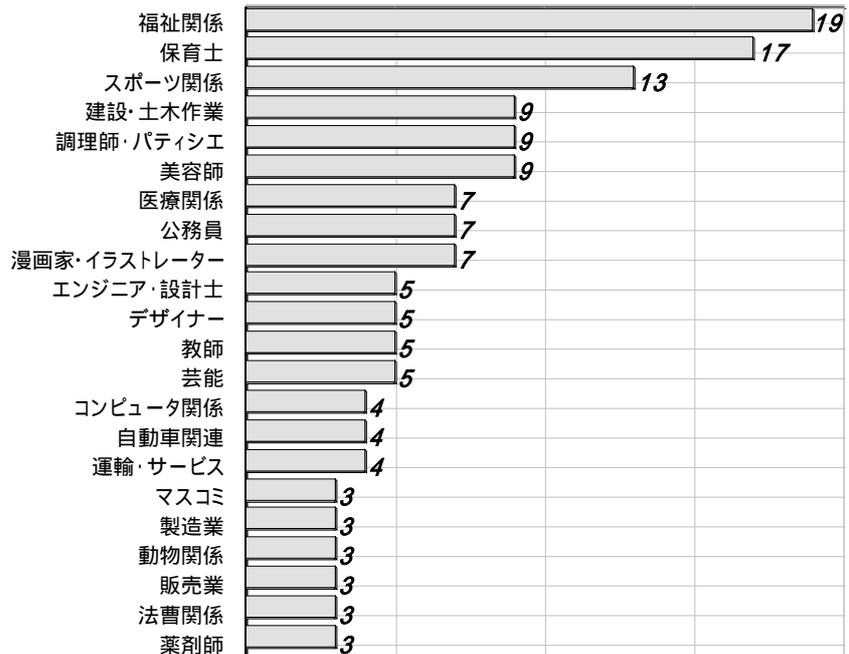
高校卒業(程度)以上、

専門学校(程度)以上、

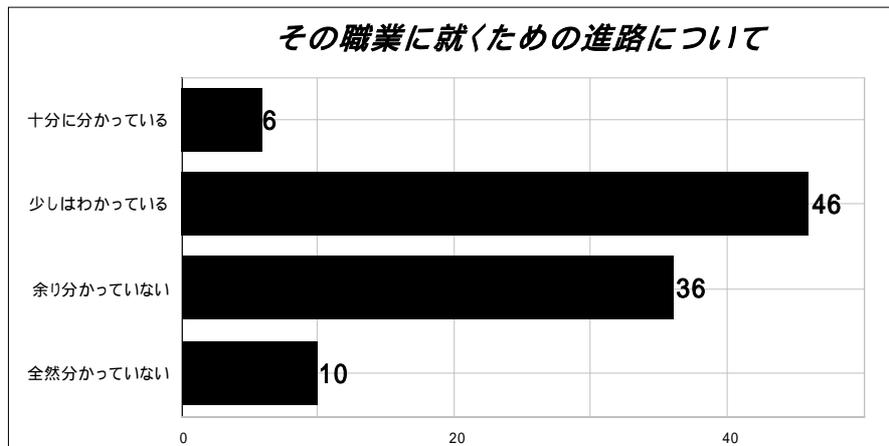
大学卒業(程度)以上

といった、**学歴を必要とするもの**や**資格が必要なもの**もあります。

希望する将来の職業



その職業に就くためにどんな進路を歩んでいったらよいか知っていますか？



「十分知っている」と答えられる人は7%ほどです。(グラフ内の数字は人数です。)

夢を実現するために「何を学ぶか」「進路選択をどのようにするか」をこれから各自が調べていかなければなりません。進路学習室に置いてある書籍などをぜひ読んでほしいと思います。

例えば、福祉関係の職業をめざす人。ホームヘルパー2級の資格を高校在学中に取得し、さらに進学して、介護福祉士、管理福祉士といった上級の資格取得を…と、見通しを持って考えてられます。

福祉関係の勉強ができる学校…というと

豊田大谷、名古屋大谷は普通科の学校ですが福祉に関するコースを以前から設置しています。瀬戸北にも今年度、同様のコースが開設されました。菊華高校でも「KIKUKA講座」で選択すれば、ホームヘルパー2級の資格がとれるようです。高等専修学校では、名古屋福祉・服飾専門学校やさつき調理・情報学院があります。名古屋福祉・服飾の福祉科は専門課程を含めて5年間の教育で、上級資格の取得をめざしているので、進級時の入試は基本的に必要ないようです。

中学校卒業後の進路を自分で選ぶために、上級学校の教育課程や取得できる資格について、あるいは各高校、高等専修学校の特徴について、じっくりと調べて欲しいと思います。

進学を希望する場合どんな学科で学びたいですか？

複数回答なので、回答数の合計は200を超えます。普通科と書いた人が152名。進学してから将来のことを考える、ということだと思います。ただし、多くの普通科高校では1年生のときに、「文型」、「理系」のコース選択を行います。自分の将来の進路について展望を持っていないとその際に困ることになります。

工業系の学科は、かなり細分化されています。各学科の具体的な内容を知るために、是非体験入学に参加して欲しいと思います。「その他」を選んで「セラミック科」を書いた人もいましたが瀬戸窯業の「セラミック科」は工業系学科で、「工業数理」や「製図」といった教科も学習します。

先週と今週の進路の授業で各学科の特徴を学習しました。

進路学習室にある商業科や工業科など専門学科の教科書も一度見て下さい。どのような内容の学習をするのか、イメージをつかめるのではないかと思います。

